

学習指導要領		都立翔陽高校 学カスタンダード
<p>(1) 現代政治</p>	<p>ア 民主政治の基本原則と日本国憲法</p> <p>日本国憲法における基本的人権の尊重、国民権、天皇の地位と役割、国会、内閣、裁判所などの政治機構を概観させるとともに、政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務の関係、議会制民主主義、地方自治などについて理解させ、民主政治の本質や現代政治の特質について把握させ、政党政治や選挙などに着目して、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について考察させる。</p> <p>イ 現代の国際政治</p> <p>国際社会の変遷、人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国</p>	<p>【民主政治の基本原則】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・政治とは何か、国家とは何か、社会とそこに生きる人間の係りはどのようなものか、という視点から、社会に生きる人間の課題について考察する。</li> <li>・社会契約説について、現代政治との関わりを踏まえて、ホッブズ、ロック、ルソーの思想の果たした歴史的意味と現代的な意味について考察し、自分の意見をまとめる。</li> <li>・法の支配の原理と権力分立が民主政治に不可欠であることを理解し、基本的人権の保障と民主主義の発展が一体であることの意味を理解する。</li> <li>・世界各国の政治制度について、その特徴を歴史的背景を踏まえて理解し、日本政治との相違点と共通点について考察する。</li> </ul> <p>【日本国憲法の基本原則】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大日本帝国憲法の制定過程とその内容を歴史的背景を踏まえて理解する。大日本帝国憲法の統治機構、人権規定の特徴を理解し、日本国憲法との相違点について考察する。</li> <li>・日本国憲法の制定過程を検証し、その歴史的意味について考察する。3つの基本原則の内容とその意義について理解し、大日本帝国憲法との相違点について考察する。</li> <li>・日本国憲法の条文を踏まえ、国会、内閣、裁判所の所機能について理解する。三権分立の仕組みと、議院内閣制の特徴について、他国の政治制度との比較から理解する。</li> <li>・自由権と社会権の相違について理解し、基本的人権の現代的意義について、日本の課題と世界の人権状況について考察する。</li> <li>・地方自治制度の歴史を踏まえ、地方分権の現代的意味について理解し、住民投票などの新しい動きについて考察する。</li> <li>・現代日本の政治状況を、選挙をめぐる制度上の諸問題、無党派層の拡大と政治的無関心の広がりなどを通じて理解し、その課題と改善策、今後の方向について考察する。</li> <li>・ウェストファリア条約以降の主権国家の形成過程を理解し、国際法の形成過程とその機能について理解する。</li> <li>・人権に関する国際的な宣言や規約の成立、国際法に</li> </ul>

学習指導要領		都立翔陽高校 学カスタンダード
<p>(2) 現代の経済</p>	<p>国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献について理解させ、世界平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について考察させる。</p> <p>ア 現代経済の仕組みと特質 経済活動の意義、国内経済にける家計、企業、政府の役割、市場経済の機能と限界、物価の動き、経済成長と景気変動、財政の仕組みと働き及び租税の意義と役割、金融の仕組みと働きについて理解させ、現代経済の特質について把握させ、経済活動の在り方と福祉の向上との関連を考察させる。</p> <p>イ 国民経済と国際経済 貿易の意義、為替相場や国際収支の仕組み、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について理解させ、グローバル化が進む国際経済の特質について理解させ、国際経済における日本の役割について考察させる。</p>	<p>よる国家主権の制限の意義、領土問題の歴史的背景とその解決への道について考察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際連盟と国際連合のその機能を歴史的背景を踏まえて理解する。国際連合の現状と課題について、日本のかかわりを踏まえながら理解し、日本の国際貢献の在り方を考察する。</li> <li>・冷戦終結後の国際情勢の特徴、民族紛争多発の原因と背景等について個別事例に即して理解し、そうした国際社会における日本の役割について考察する。</li> <li>・資本主義経済の仕組みについて、市場経済の発達の歴史を踏まえて理解する。</li> <li>・人々の暮らしと経済のかかわりについて、その歴史的な変遷に留意しながら理解する。</li> <li>・経済主体の役割について、その相互関係が国民経済の支えになっていることを理解し、貿易や外国為替などの国際経済の動向がどのように国民経済に影響を与えるかを理解する。</li> <li>・近代から現代にかけての資本主義の変容について、その歴史的背景を理解し、国家・政府と経済活動のかかわり方がどのように変化したかを理解する。</li> <li>・市場メカニズムを需要供給曲線の変化により理解し、資源の最適配分と市場の失敗、外部不経済など、市場原理と政府の経済的役割について考察する。</li> <li>・景気変動の発生原因と、国民生活への影響について理解し、政府の取るべき景気対策について考察する。</li> <li>・財政の機能と役割を理解し、日本の財政の抱えている課題について、今後の展望を踏まえて考察する。</li> <li>・金融政策の機能と役割、中央銀行によるマネーストックの調整方法を理解する。金融政策や金融市場の動向と国民経済の関わりについて理解し、日本(日銀)を含めて、世界各国の金融政策の動向について考察する。</li> <li>・グローバル化が進む国際社会における、国民経済と国際経済の関係について、その相互依存の関心に注目しながら、多角的な視点で理解する。</li> <li>・保護貿易と自由貿易の考え方の相違、グローバル化の下での経済の自由化の各国経済に及ぼす影響について国民生活への影響を踏まえながら理解し、今後の在り方を考察する。</li> <li>・IMF 体制の現状と限界、為替危機の原因と背景などを</li> </ul>

学習指導要領		都立翔陽高校 学カスタンダード
<p>(3) 現代社会の諸課題</p> <p>ア 現代日本の政治や経済の諸課題                      少子高齢社会と社会保障、地域社会の変貌と住民生活、雇用と労働をめぐる問題、産業構造の変化と中小企業、農業と食糧問題などについて、政治と経済とを関連させて探究させる。</p> <p>イ 国際社会の政治や経済の諸課題                      地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力、人種・民族問題と地域紛争、国際社会における日本の立場と役割について、政治と経済とを関連させて探求させる。</p>	<p>多角な視点で理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・EU を中心に、世界の経済統合の歴史と現状を理解し、その課題と今後の展望について考察する。</li> <li>・南北問題や南北問題など、世界の抱える経済問題について、その歴史的な背景を含めて理解し、日本をはじめとする先進国の政府、企業の役割について考察する。</li> <li>・少子高齢化が急速に進む日本の直面する問題について、介護、医療、年金、医療などの具体的に検討し、課題解決に向けた方策について考察する。</li> <li>・成熟社会における民主主義と地方分権の在り方について、地域の活性化と国民経済の発展のバランスについて考察する。</li> <li>・雇用と労働をめぐる社会情勢・経済情勢の現状について、雇用形態(非正規雇用の増加)、労働時間(ワークライフバランス)、女性の雇用、高齢者の雇用、障がい者の雇用など、具体的な問題に即して理解し、今後の課題について考察する。</li> <li>・産業構造の変化とグローバル化の進行の下における中小企業をめぐる現状と課題について理解し、日本経済のあり方を踏まえながら今後の課題について考察する。</li> <li>・日本の農業の現状を、食料政策の在り方と関係づけて理解し、食糧安全保障の観点から、今後の食料・農業政策について考察する。</li> <li>・地球環境と、資源・エネルギー問題を、国際的視野で理解し、南北の格差の現状とその克服を視野に入れて、国連などの国際組織、各国政府、企業、NGO などの果たすべき役割について考察する。</li> <li>・人種・民族問題と地域紛争の原因と背景、その現状について、個別事例にあたりながら歴史敵意視野を踏まえて理解し、民族自立と多民族の共生という複数の視点から、深く考察し、日本の果たすべき役割について考える。</li> <li>・持続可能な社会の実現に向けた各国の取り組みについて理解し、先進国の一員として日本の果たす役割について考察する。</li> <li>・政治経済を学んだことを通じて、これからの時代を自ら創造する世代の一員として、各自が今後の世界に向けた貢献の在り方を考える。</li> </ul>	

教科：公民 科目：政治・経済

作成様式